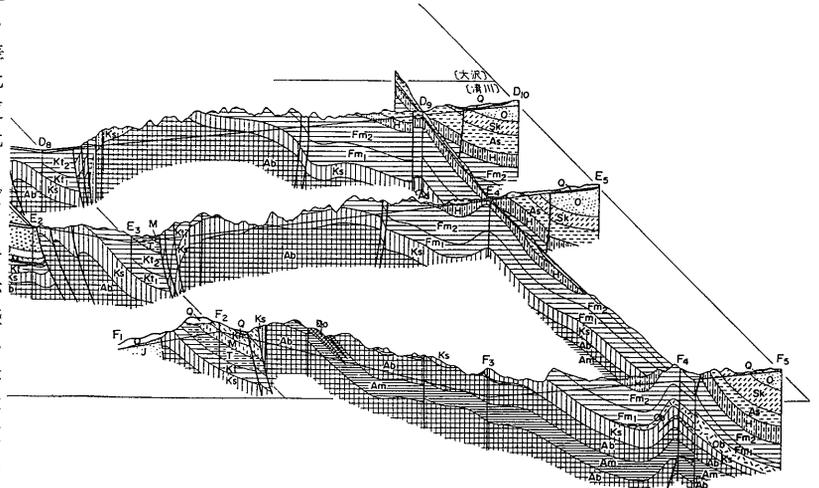


本地域の地質は主として新第三系～第四系の堆積岩からなっている。最下部の中新世中期の青沢層は玄武岩のハイアロクラスタイトを主とし 海底での割れ目噴火によって形成された地層である。これを覆って含油第三系と呼ばれる中新世後期～更新世の地層が分布している。その下部は海成泥岩からなるが上位ほど粗粒な堆積物を主とするようになり 堆積盆が次第に浅くなっていったことを示している。含油第三系最下部の草薙層は硬質泥岩からなり 最も海域が広がった時期の堆積物である。草薙層より上位の含油第三系は庄内地域と新庄地域で別々の地層名が命名されている。庄内地域では下位より 北俣層・楯山層・丸山層及び観音寺層からなり 新庄地域では 古口層・羽根沢層・芦沢層・鮭川層・折渡層及び山屋層の順に重なっている。両地域の岩相は上位ほど差異があり 堆積盆が陸化と同時に分化していったことを示唆している。更新世後期には 本地域はほとんど陸化し 多くの河岸段丘が形成された。肘折軽石堆積物は最後の段丘とはほぼ同時期に本地域南部に流下している。

本報告書の付図には清川図幅地域付近のパネルダイアグラム(下図)が示され この中に多数の試掘井資料が盛り込まれている。これは庄内平野から新庄盆地にかけての地質構造を立体的に表わしている。特に 本図幅地域西部を南北に走る青沢断層群と青沢複背斜の構造が詳細に示されており 出羽丘陵の地質構造発達史解明に大いに役立つだろう。

本報告とともに「酒田」(池辺ほか、1979)及び「鶴岡」(土谷



ほか、1984)も併せて読まれれば 出羽丘陵地域の地質を更に詳しく理解することができるだろう。



5万分の1地質図幅の新刊

清川  
KIYOKAWA

5万分の1地質図幅 地域地質研究報告



地質ニュース	第392号	4月号
昭和62年4月1日	定価 ¥ 630	〒 実費
編集	発行	
発行人	工業技術院地質調査所	
発行人	林久雄	
	株式会社実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒102	
	Tel. (03)265-0951(代表)	
	振替口座 東京1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	
	出版事業部	

著者 大沢穠・片平忠実・土谷信之  
 発行 工業技術院 地質調査所  
 取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809 262-1401  
 そのほか全国主要書店  
 販売価格 2,520円